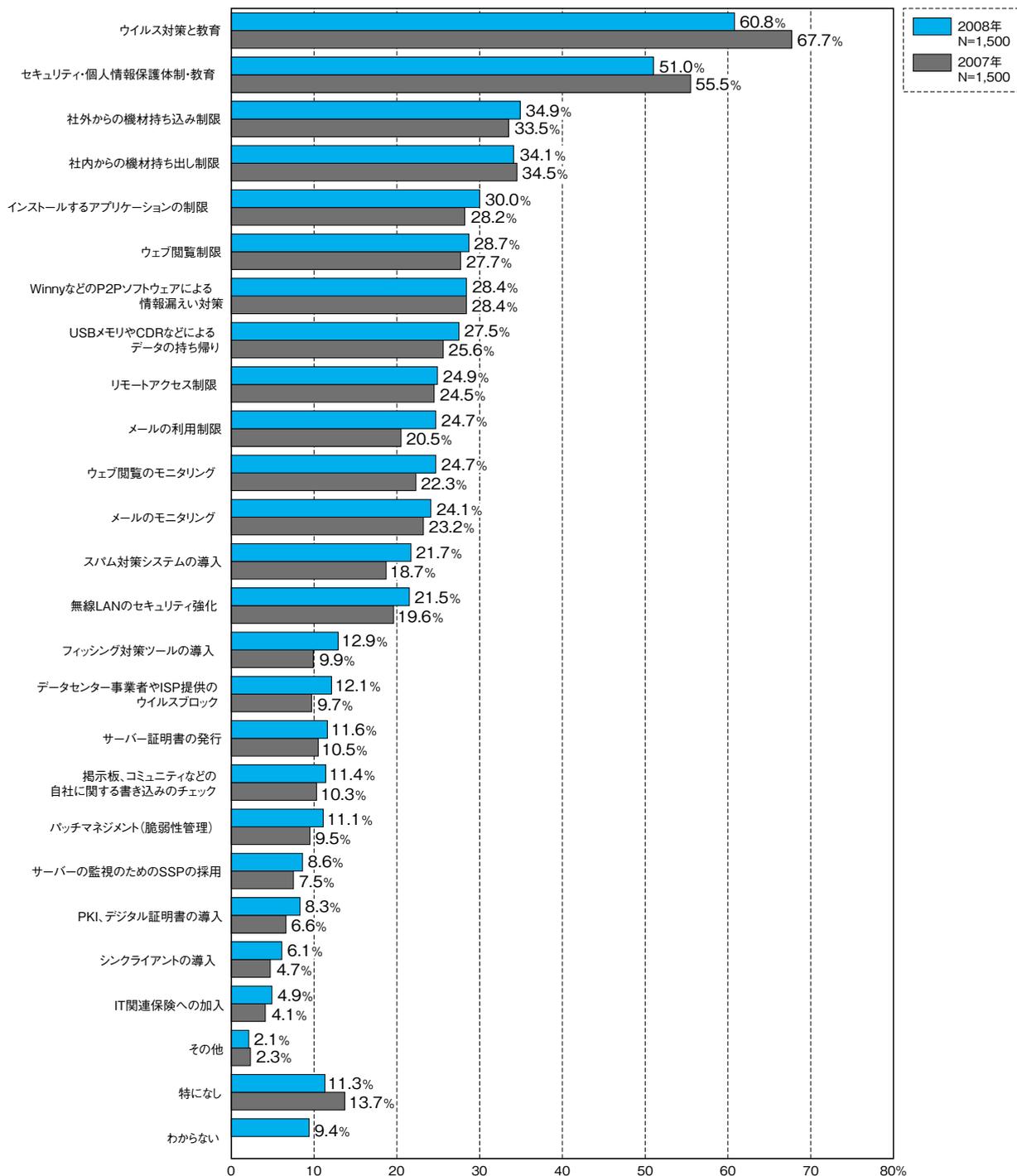


セキュリティ対策

■ セキュリティ対策では「ウイルス対策と教育」が60.8%

資料 7-6-6 取り組んでいるセキュリティ対策(複数回答) [2007年-2008年]



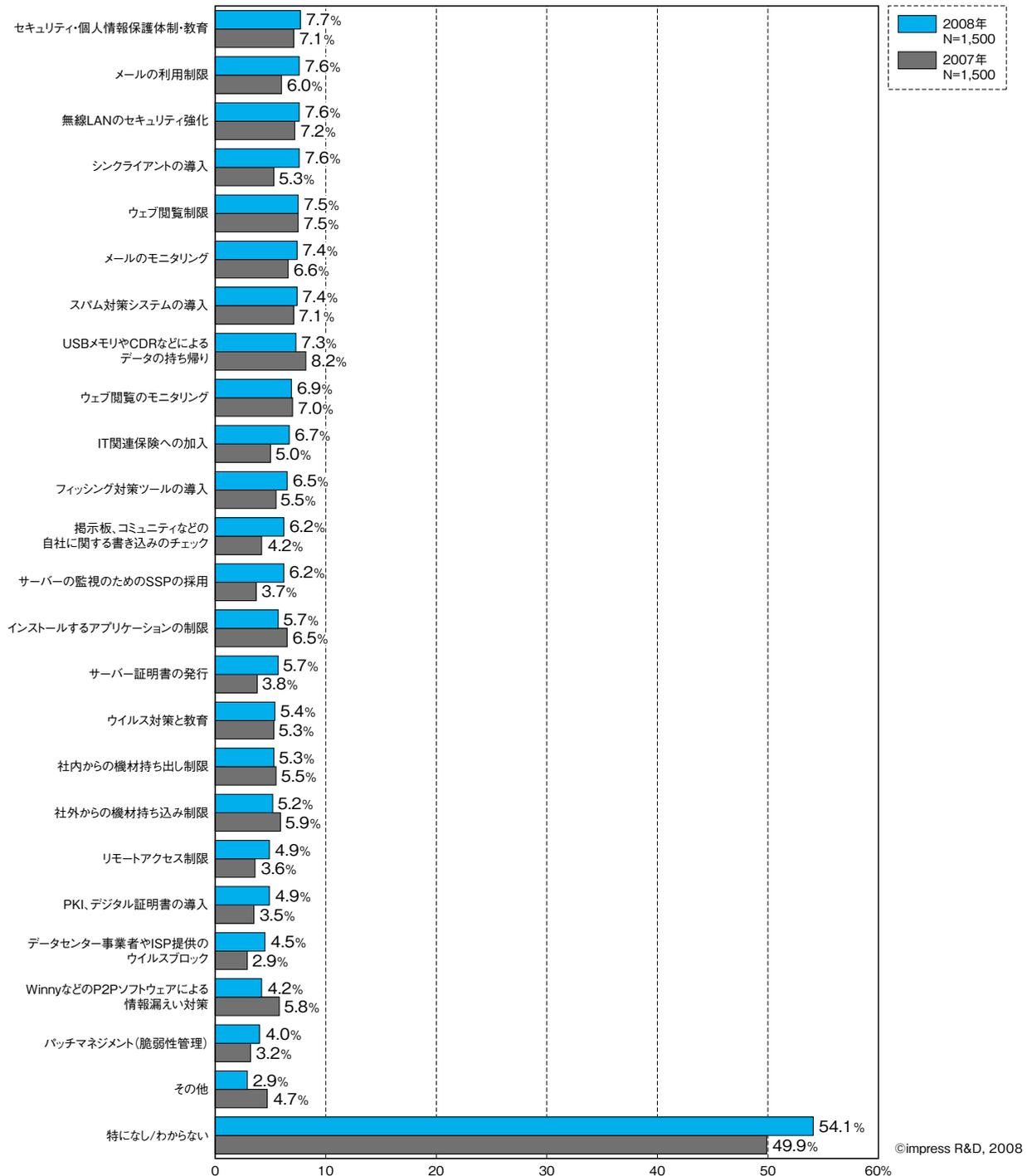
企業内で取り組んでいるセキュリティ対策では、「ウイルス対策と教育」の60.8%、「セキュリティ・個人情報保護体制・教育」の51.0%がほかの項目よりやや飛び出して高い。今年は選択肢に「わからない」を追加していることもあり、上位2項目は比率が低下しているものの、全体的に昨年から大きな変化はみられない。

©impress R&D, 2008

セキュリティ対策

■ 今後新たに取り組むセキュリティ対策は半数が予定なし

資料 7-6-7 今後取り組む予定のセキュリティ対策(複数回答) [2007年-2008年]

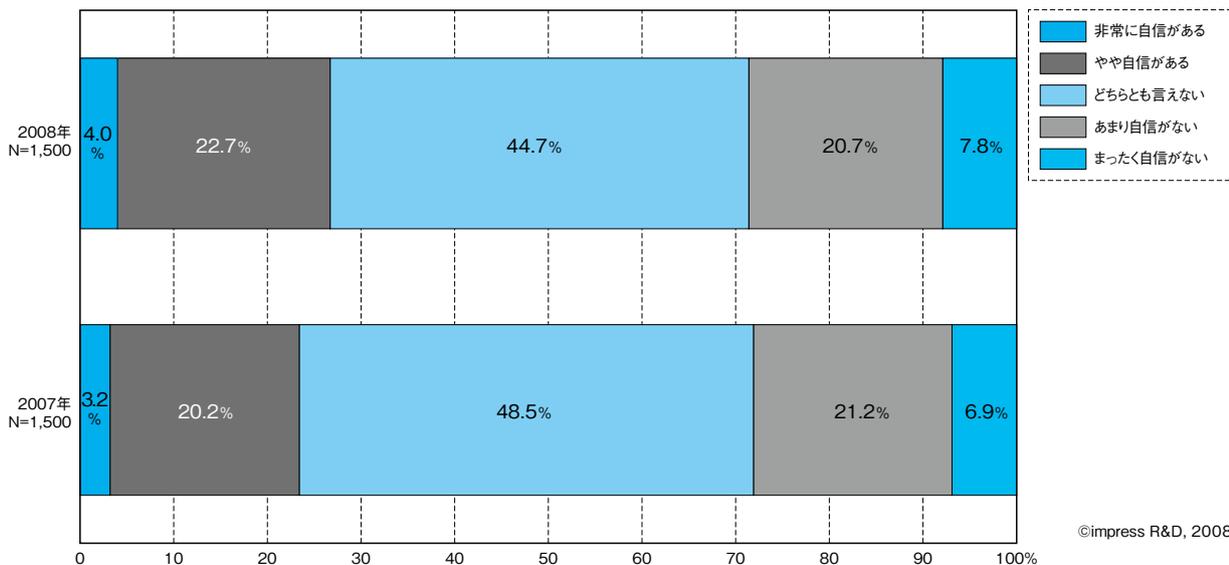


現在取り組んでいるセキュリティ対策以外で今後取り組む予定のセキュリティ対策を尋ねた。「特になし/わからない」が54.1%であり、昨年から4ポイント増加している。具体的な対策の上位では、「セキュリティ・個人情報保護体制・教育」や「メールの利用制限」「無線LANのセキュリティ強化」などが僅差で並んでいる。

セキュリティ対策

■ セキュリティ対策に自信がない層が自信がある層を上回る

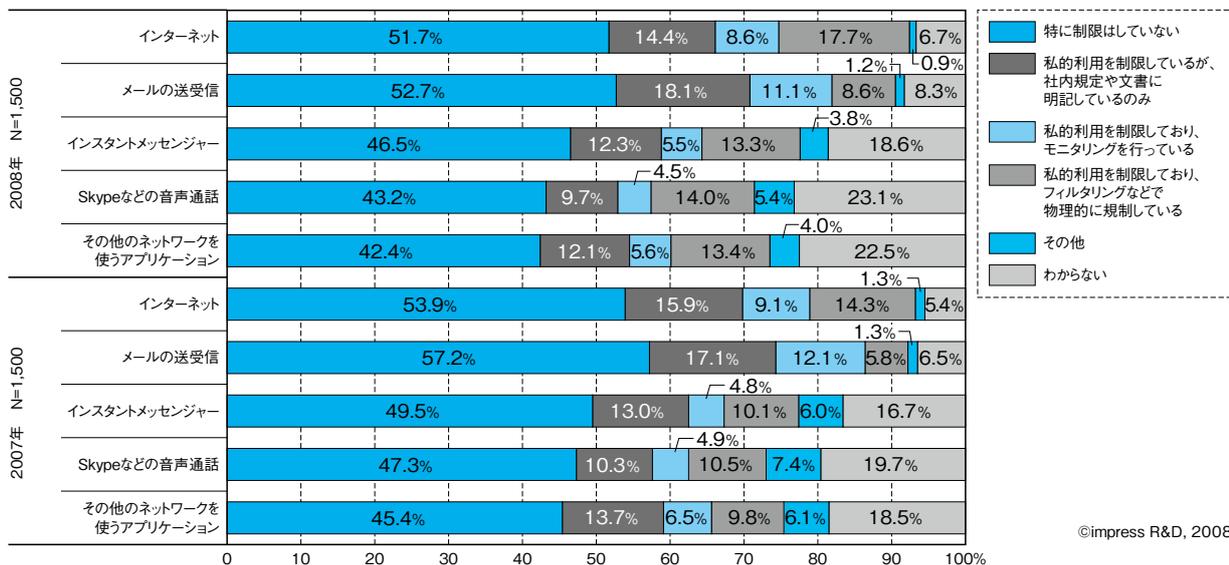
資料 7-6-8 取り組んでいるセキュリティ対策の効果 [2007年-2008年]



取り組んでいるセキュリティ対策の効果についてきいたところ、「どちらとも言えない」が44.7%と最も高い。一方、「非常に自信がある」や「やや自信がある」を合わせると26.7%となり、昨年の23.4%から増加しているが、依然として自信がない層の28.5%を下回っている。

■ インターネットやメールの送受信の私的利用制限は4割前後

資料 7-6-9 インターネットやメールの私的利用の制限有無 [2007年-2008年]



インターネットやメールなどの私的利用の制限状況をみただけであるが、何かしらの制限をしているのはインターネットの40.7%が最も高く、ついでメールの送受信が37.8%となっており、昨年の調査より数ポイント増加している。ただし、「特に制限をしていない」の比率が「わからない」を除くと半数以上となっている。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp